

# 観光立国の推進

---

# 目 次

1. 観光立国実現に向けての取組	2
2. 外航クルーズ船の寄港促進	3
3. 国内旅客船の船旅の振興	13
4. オリパラに向けた取組	16
5. マリンレジャーの振興	17
6. ご議論いただきたいポイント	21

# 1. 観光立国実現に向けての取組

## インバウンドをめぐる昨今の状況

- 2020年に向け訪日外国人旅行者数2,000万人の高みを目指して、政府全体で取り組んでいる。
- 2014年は、過去最高の約1,341万人を受入れた。

## インバウンドにおける海事分野の現在位置と課題

### I. 訪日外国人の交通手段

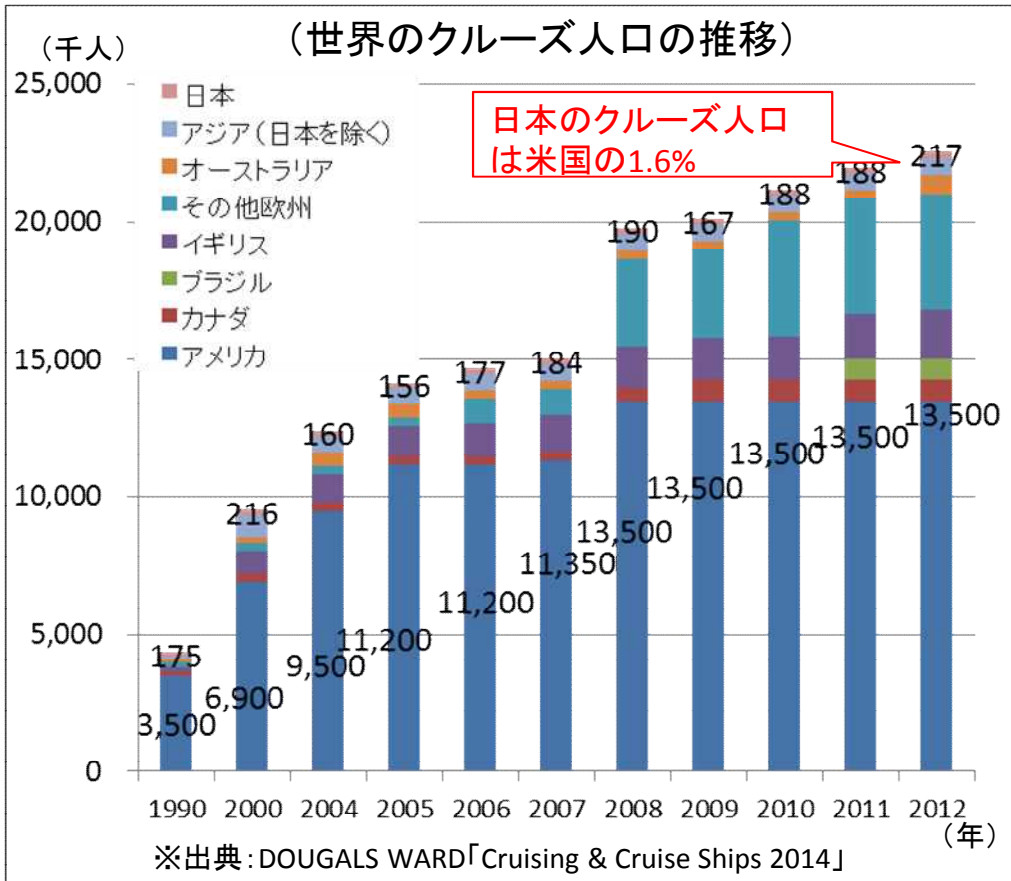
- ・ 我が国を訪れる外国人の約94%が空路、約6%が海路を利用している。
- ⇒ 外航クルーズ船の寄港促進による訪日外国人増加の促進

### II. 訪日後の交通手段・観光資源

- ・ 「行ってみたい日本の観光地のイメージ」として、「海」は低位に甘んじており、船や海での楽しみはほとんど意識されていない。
- ⇒ 国内の船旅や大都市舟運及びマリンレジャーの魅力の発信、向上

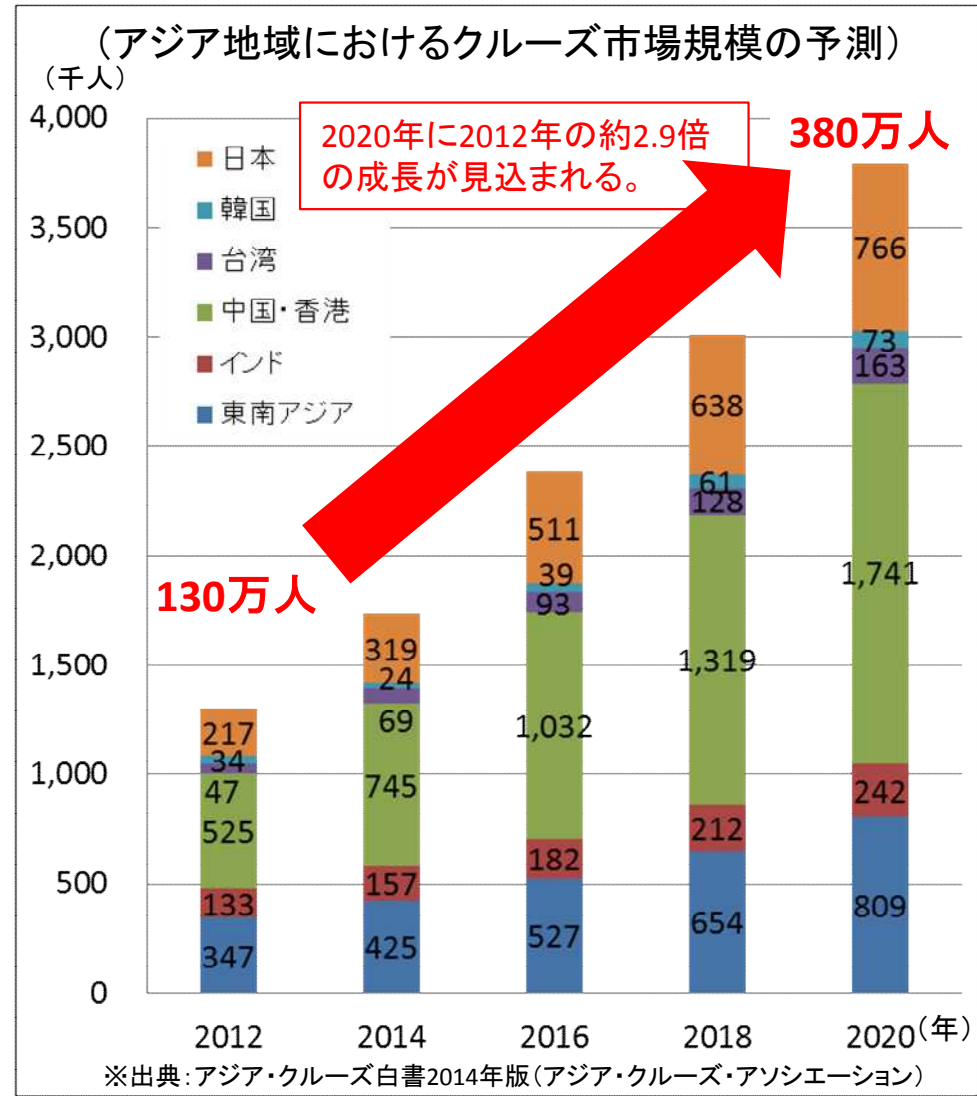
# 2. 外航クルーズ船の寄港促進(世界のクルーズ市場と今後のアジアクルーズ市場の予測)

世界のクルーズ人口は年々増加。  
 一方で日本のクルーズ人口は約22万人となっており、総人口に対するクルーズ人口の比率は0.17%。  
 米国(4.3%)、英国(2.79%)などと比べ少ないことから、我が国のクルーズは成長の余地が大きい。



	人口 (A(万人))	クルーズ人口 (B(万人))	クルーズ人口比率 (A/B(%))
アメリカ	31,387	1,350	4.30%
イギリス	6,370	178	2.79%
日本	12,756	22	0.17%

※出典: The World Bank(人口)、Cruising & Cruise Ships 2014(クルーズ人口)(2012年1月1日現在)



# 2. 外航クルーズ船の寄港促進(クルーズ市場の現状)

## 日本に寄港している主なクルーズ船

### ラグジュアリー船(ブティック含む)

#### 日本籍クルーズ船



飛鳥II



にっぽん丸



クイーン・エリザベス



ぱしふいっくびいなす

### プレミアム船



ダイヤモンド・プリンセス



サン・プリンセス

### カジュアル船



ホイジャー・オブ・ザ・シーズ



クァンタム・オブ・ザ・シーズ

※写真については各社HPより引用

## 世界のクルーズマーケット(分類)

### ラグジュアリー(ブティック含む)

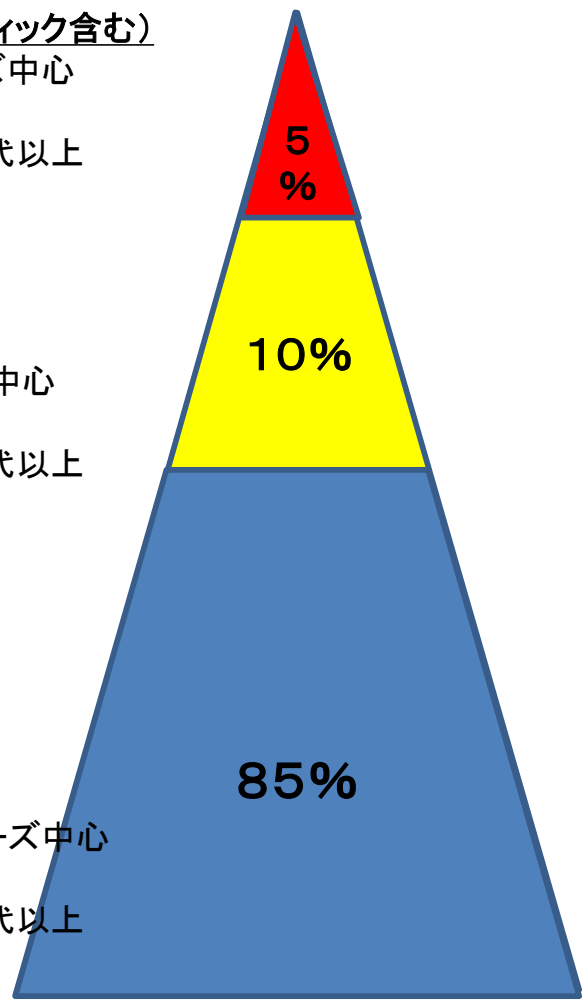
10泊以上のクルーズ中心  
1泊:\$400~、  
乗客の年齢層は50代以上

### プレミアム

7泊以上のクルーズ中心  
1泊:\$200~、  
乗客の年齢層は30代以上

### カジュアル

3~7泊程度のクルーズ中心  
1泊:\$70~、  
乗客の年齢層は20代以上



※クルーズアドバイザー認定委員会作成のクルーズ教本(平成26年版)より

ラグジュアリー船に加え、プレミアム、カジュアル船を日本に呼び込むことが必要

# 2. 外航クルーズ船の寄港促進(日本籍クルーズ船の概要)

## 郵船クルーズ

### 飛鳥II



就航: 2006年3月 (建造1990年7月)  
 総トン数: 50,142トン  
 乗客数: 872名、客室数: 436室  
 分類: ラグジュアリー

## 商船三井客船

### にっぽん丸



就航: 1990年9月  
 総トン数: 22,472トン  
 乗客数: 524名、客室数: 202室  
 分類: ラグジュアリー

## 日本クルーズ客船

### ぱしふいっくびいなす



就航: 1998年4月  
 総トン数: 26,594トン  
 乗客数: 620名、客室数: 238室  
 分類: ラグジュアリー

## 実施しているクルーズの具体例

### 国内クルーズ

#### 短期クルーズ

- 館山花火クルーズ (年1回)  
1泊2日 5万円~20万円程度
- 津軽・金沢クルーズ (年2回)  
3泊4日 11万円~61万円程度

#### 長期クルーズ

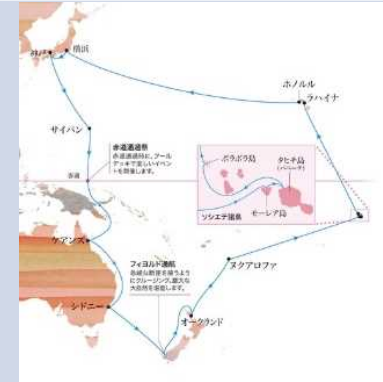
- 日本一周クルーズ (年1回)  
11泊12日 : 54万円~226万円程度



日本一周クルーズの寄港地  
 ※商船三井客船HPより

### 海外クルーズ

- サイパンクルーズ (年1回)  
10泊11日 44万円~200万円
- タヒチ・ハワイクルーズ (年1回)  
46泊47日 : 123万円~625万円
- 南太平洋グランドクルーズ (年1回)  
49泊50日 : 181万円~1,228万円
- 世界一周クルーズ (年1回)  
103泊104日 442万円~2,634万円



南太平洋グランドクルーズの寄港地  
 ※郵船クルーズHPより



# 2. 外航クルーズ船の寄港促進(外国籍クルーズ船の概要)

## ロイヤルカリビアン・インターナショナル(米国)

### クァンタム・オブ・ザ・シーズ



就航: 2014年11月  
 総トン数: 167,800トン  
 乗客数: 4,180名、客室数: 2,090室  
 分類: カジュアル

## プリンセス・クルーズ(米国)

### ダイヤモンド・プリンセス



就航: 2004年2月  
 総トン数: 115,875トン  
 乗客数: 2,670名、客室数: 1,337室  
 分類: プレミアム

## キュナード・ライン(英国)

### クイーン・エリザベス



就航: 2010年10月  
 総トン数: 90,900トン  
 乗客数: 2,068名、客室数: 1,029室  
 分類: ラグジュアリー

## 実施しているクルーズの具体例

### 日本発着クルーズ

- 気楽にクルーズ 神戸～釜山～小樽(年2回)  
4泊5日 7万円～15万円程度
- 美ら海の沖縄、石垣島、奄美と台湾(年6回)  
8泊9日 12万円～70万円程度
- 世界遺産の地・濟州島と台湾周遊(年4回)  
9泊10日 14万円～80万円程度
- ゴールデンウィーク日本周遊と釜山(年1回)  
10泊11日 24万円～89万円程度



日本周遊と釜山クルーズ  
(2014年パンフレットより)

### 海外クルーズ

- タスマニア(年1回)  
7泊8日 10万円～45万円
- ニューカレドニアとバヌアツ(年3回)  
11泊12日 16万円～32万円程度
- 大西洋横断と北ヨーロッパ(年1回)  
20泊21日 26万円～93万円
- 世界一周クルーズ(年1回)  
118泊120日 176万円～5,600万円



タスマニア・クルーズの寄港地  
(カーニバル・ジャパンHPより)

# 2. 外航クルーズ船の寄港促進(日ASEANクルーズ振興戦略について)

## 日ASEANクルーズ振興戦略

- 【背景】**  
 アジアの経済発展により、アジア地域へのクルーズ船の配船が増加しており、ASEANと協力し、日本とASEAN地域へのクルーズ船寄港増加を促進することにより、訪日外国人の増加を促進するとともに、地域活性化を図る。
- 【経緯】**
- ・2014年11月にミャンマーで開催されたASEAN交通大臣会合で「日ASEANクルーズ振興戦略」を採択
  - ・2015年～2019年の5年間で、①振興施策の立案②旅程表(モデルルート)の開発③インフラの整備④質の向上(人材育成)⑤関係データの整備⑥市場の活性化(共同プロモーション等)の6つの柱を中心にクルーズ振興を推進していくことを決定。
  - ・2015年2月にマレーシアにおいて日ASEANクルーズ振興専門家会合を開催。  
 1年目となる2015年には、日本とASEANを結ぶモデルルートの策定及びクルーズ会社、旅行会社、関係行政団体等を対象としたシンポジウムを開催することに合意。



日ASEAN交通大臣会合

## モデルルート策定事業の概要

- ・2015年事業として、日本とASEANをつなぐ新しいクルーズルート(モデルルート)の調査を実施
- ・歴史巡りや買い物等のテーマ性を考慮しつつ、「フライ&クルーズ」「周遊」といったタイプ別のモデルルートを複数策定
- ・海洋を通じてアジアとのつながりが強い日本国内の都市で、モデルルートをテーマとしたシンポジウムを開催し、情報発信することにより、ルートとしての魅力をアピール

集客力のある魅力的なクルーズ商品の造成を目指す。



東南アジアクルーズ  
 (年1回)  
 2015年1月13日～2月1日  
 (19泊20日)  
 金額66万円～351万円  
 につぼん丸(商船三井客船)



アジアグランドクルーズ  
 (年1回)  
 2014年1月30日～3月6日  
 (35泊36日)  
 金額129万円～785万円  
 飛鳥II(郵船クルーズ)

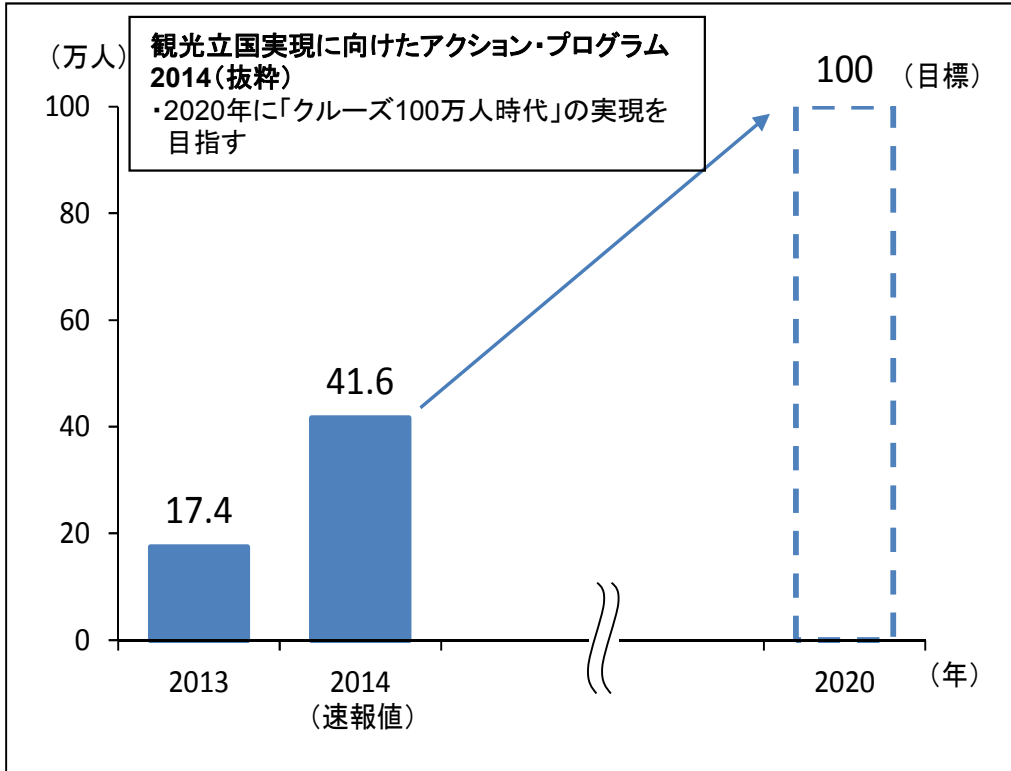
# 新たなクルーズ船・ルートをアジア地域へ展開、地域活性化に貢献



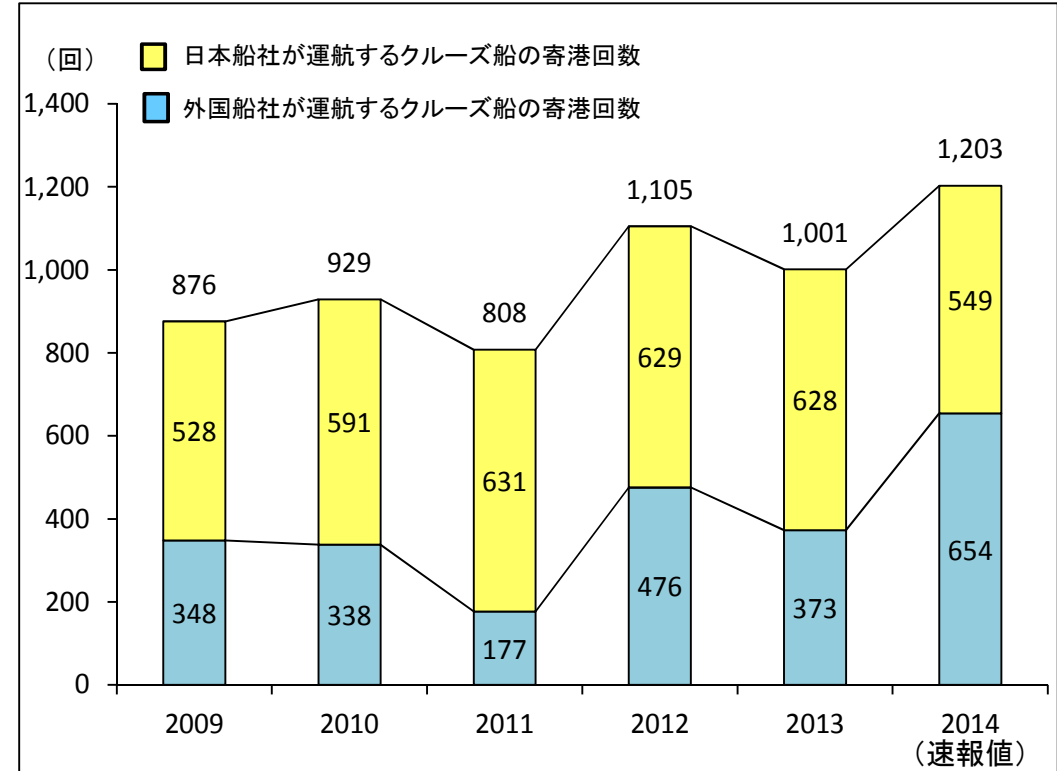
## 2. 外航クルーズ船の寄港促進(クルーズ船の寄港動向①)

- 2014年中に我が国へクルーズ船により入国した外国人旅客数は前年比2.4倍の約41.6万人(概数)。
- 外国船社が運航するクルーズ船の我が国港湾への寄港回数は654回、日本船社も含めると1,203回となり、いずれも過去最高。
- 我が国は、2020年にクルーズ船で入国する外国人旅客数100万人(クルーズ100万人時代)を目標として取り組んでいる。

### クルーズ船による外国人入国者数(概数)



### 我が国港湾へのクルーズ船の寄港回数



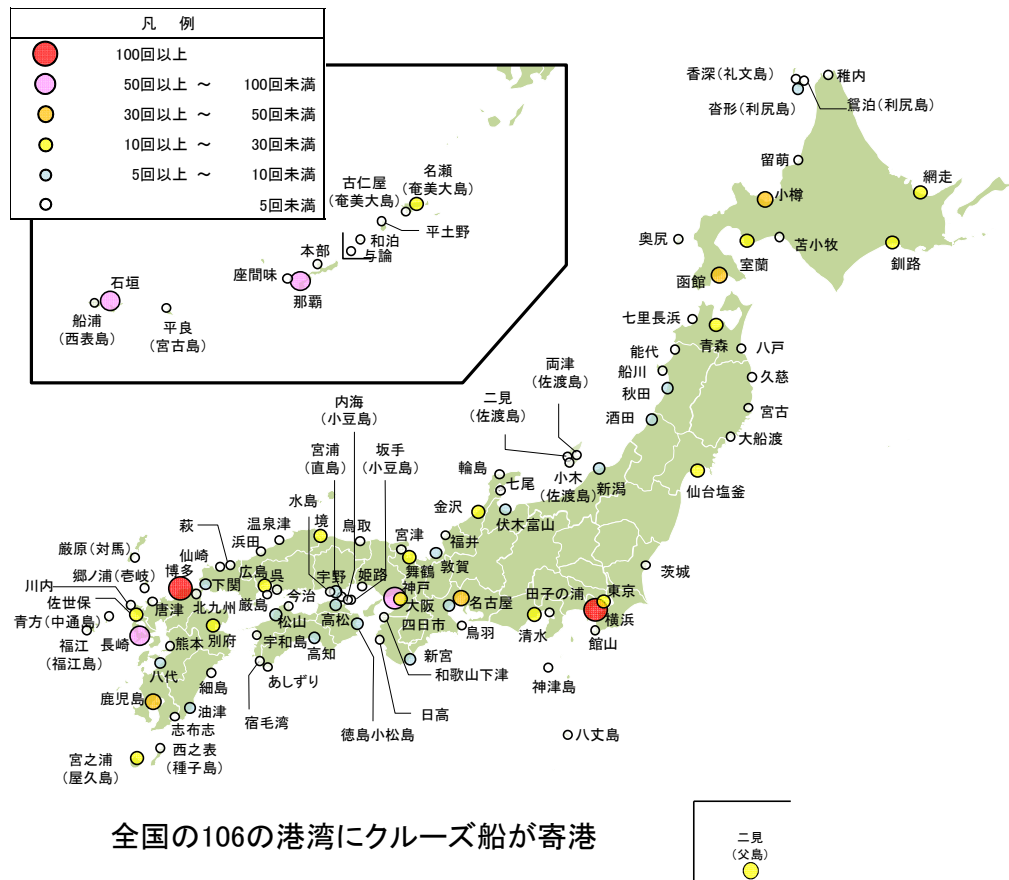
注1) 法務省入国管理局の集計による外国人入国者数で概数(乗員除く)。  
注2) 1回のクルーズで複数の港に寄港するクルーズ船の外国人旅客についても、(各港で重複して計上するのではなく)1人の入国として計上している。

出典: 港湾管理者への聞き取りを基に国土交通省港湾局作成  
注) 2014年の値は、速報値であり、今後、変動する可能性がある。

## 2. 外航クルーズ船の寄港促進(クルーズ船の寄港動向②)

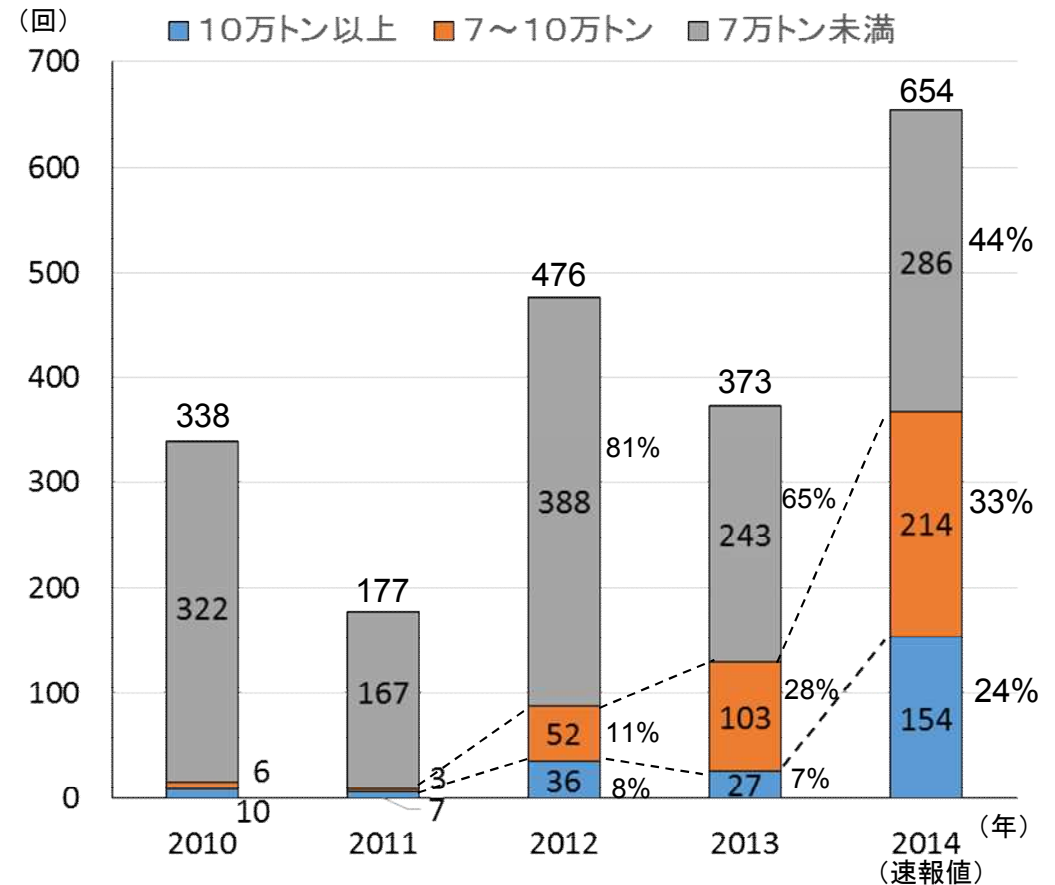
- 2014年にクルーズ船が寄港した港湾の数は、全国で106港に及ぶ。
- また、外国船社が運航するクルーズ船は、近年、大型船の寄港が急増している。

### クルーズ船の寄港する港湾（2014年速報値）



出典：港湾管理者への聞き取りを基に国土交通省港湾局作成  
注）速報値であり、今後、変動する可能性がある。

### 寄港するクルーズ船の船型（外国船社）



出典：港湾管理者への聞き取りを基に国土交通省港湾局作成  
注）2014年の値は、速報値であり、今後、変動する可能性がある。

# 2. 外航クルーズ船の寄港促進(大型化が進むクルーズ船)

船名	船型<総トン数>		船幅	乗客定員
<b>飛鳥II</b> (邦船最大のクルーズ船 '13年137回寄港) 初就航:1990年	<50,142トン>	マスト高 45m 満載喫水 7.8m	29.6m	872人
<b>Sun Princess</b> ('13年より日本発着クルーズに配船 '13年46回寄港) 初就航:1995年	<77,441トン>	マスト高 50m 満載喫水 8.1m	32.3m	1,990人 (2,250)
<b>Diamond Princess</b> ('14年より日本発着クルーズに配船 '13年7回寄港) 初就航:2004年	<115,875トン>	マスト高 54m 満載喫水 8.5m	37.5m	2,670人 (3,286)
<b>Voyager of the Seas</b> ('13年より日本発着クルーズに配船 '13年18回寄港) 初就航:1999年 ※2014年改装	<138,194トン>	マスト高 64m 満載喫水 9.1m	38.6m	3,286人 (4,000)
<b>Queen Mary 2</b> (日本に寄港した最大のクルーズ船 '12年2回寄港) 初就航:2004年	<148,528トン>	マスト高 62m 満載喫水 10.3m	41.0m	2,592人 (3,056)
<b>Oasis of the Seas</b> (世界最大のクルーズ船 寄港実績なし) 初就航:2009年	<225,282トン>	マスト高 65m 満載喫水 9.1m	64.0m	5,400人 (6,360)

出典:「クルーズシップコレクション2014・2015(海事プレス社)」、船社代理店への聞き取り調査を基に国土交通省港湾局作成。 ※乗客定員は、1室2人使用時、( )書は全ベッド使用時

※日本の主な橋梁の桁下高 レインボーブリッジ:52m 横浜ベイブリッジ:55m 関門橋:61m 明石海峡大橋、女神大橋(長崎):65m

※クァンタム・オブ・ザ・シーズ(Quantum of the Seas) 総トン数 167,800トン 全長 348m 全幅 41.4m 喫水 8.5m マスト高 62.5m 乗客定員 4,180人

※クイーン・エリザベス(Queen Elizabeth) 総トン数 90,901トン 全長 294m 全幅 32.3m 喫水 7.9m マスト高 55m

※にっぽん丸 総トン数 22,472トン 全長 167m 喫水 6.6m 乗客定員 398人 ※ぱしふいっくびいなす 総トン数 26,594トン 全長 183m 喫水 6.5m 乗客定員 476人

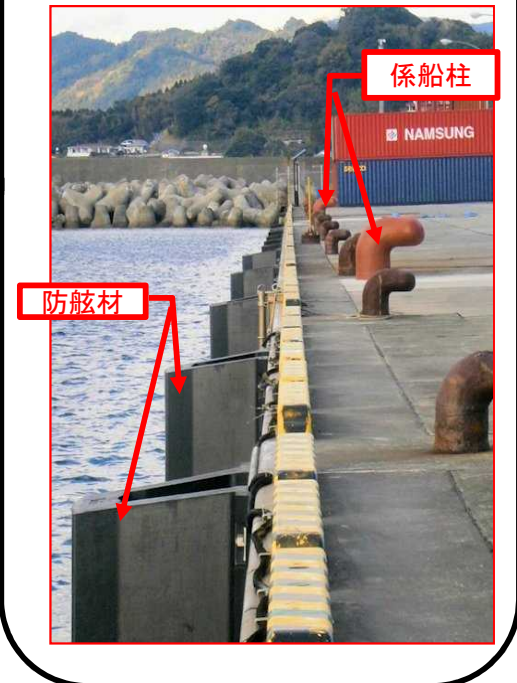
※(参考) 国会議事堂 長さ(南北)206m 高さ(中央棟)65m

# 2. 外航クルーズ船の寄港促進(貨物港を活用したクルーズ船の寄港増や大型化への対応)

- 既存施設を有効に活用しつつ、クルーズ船の寄港増や大型化に対応するため、既存岸壁の係船柱や防舷材等の改良を実施。
- また、夜間出港するクルーズ船に帰船する旅客のため、岸壁上に投光器を配置するなど、必要な対策を実施。

## クルーズ船の寄港に対応した港湾施設の改良 広島港の事例 (改良イメージ)

外国の大型クルーズ船の寄港に備え、既存岸壁の係船柱や防舷材を改良。



平成27年3月に完成予定 → これによりクアンタム・オブ・ザ・シーズ(16万トン)の寄港が実現予定(平成27年8月予定)

## 油津港の事例



平成27年2月に完成 → これによりポインジャー・オブ・ザ・シーズ(13万トン)の寄港が実現予定(平成27年7月予定)

## クルーズ客の夜間帰船時の対策

### 青森港の事例



岸壁上に設置した投光器(写真上) [平成26年8月]



# 2. 外航クルーズ船の寄港促進(クルーズ100万人時代に向けた取組)

○クルーズ振興を通じた地方の創生を図るため、既存施設を有効に活用しつつ、旅客船ターミナルの整備やクルーズ客の円滑な周遊を可能とするための環境整備等を加速化させ、2020年に「クルーズ100万人時代」の実現を目指す。

1. 「全国クルーズ活性化会議」(会長:横浜市長、全国106の首長等が参加)と連携して、クルーズ船社、港湾管理者、自治体が参加する商談会・シンポジウムを開催。



船社と港湾管理者等による商談会

2. 外国クルーズ船社等が我が国への寄港を検討する際に必要となる港湾施設の諸元や、寄港地周辺の観光情報を一元的に発信するウェブサイト(※1、※2)を充実。

※1「Wharf Information」

Wharf (Pier) Information  
埠頭別情報

Wharf (Pier) name: ふ頭名: Osanbashi-Pier		
III. PHYSICAL CONSIDERATIONS 物理的留意事項		
1. Berth 岸壁	Length / Water depth 延長/水深	① A~B: 450m / 12m ② C~D: 450m / 10~11m ③
	Height of the pier above MLW or chart datum (平均干潮位又は海図基準からの) 岸壁の高さ	① A~D: 2.45m ② ③
	Pier depth (distance to the closest obstruction behind the pier edge) 岸壁の幅(岸壁の端から背後障害物までの距離)	① A~D: 20m ② ③
	Minimum depth across the berth 岸壁の最低水深	① AB 12m ② C 11m ③ D 10m
	2. Channel 航路	Width / water depth 幅/水深
3. Turning basin (diameter) 回頭泊地(直径)		① Ship Length overall ×2 (2LOA) ② ③
4. Clearance 高さ制限		① Approx.53m ② ③
5. Maximum tidal range / max currents 最大潮差		<Tidal range>HHW: 2.30m/LLW: 0m

※2「CRUISE PORT GUIDE OF JAPAN」

博多港周辺観光情報

CRUISE PORT GUIDE OF JAPAN

太宰府天満宮

学問の神・菅原道真公を祀り、受験合格などを祈願する参拝者が国内外から訪れ賑わっている太宰府の名所。桃山様式の本殿や御神木の飛梅、国宝を納めた宝物殿など見どころもいっぱい。

所在地・開催地	〒818-0195 福岡県太宰府市幸府 4-7-1
アクセス	ツアー・乗船バスより車で45分(16km) 個人:電車で西鉄太宰府線「太宰府」駅下車徒歩5分(16km)
季節	通年
関連リンク	太宰府天満宮 <a href="http://www.dazaifutenmangu.or.jp/about">http://www.dazaifutenmangu.or.jp/about</a> 九州国立博物館 <a href="http://www.kyuhaku.jp/">http://www.kyuhaku.jp/</a>
お問い合わせ【太宰府天満宮】	電話番号:092-822-8225 ホームページ: <a href="http://www.dazaifutenmangu.or.jp/contact">http://www.dazaifutenmangu.or.jp/contact</a>

大濠公園・舞鶴公園

大濠公園は市の中心部にありながら春夏秋冬自然に親むことができる市民のオアシスで、元々は福岡城の外濠だった。舞鶴公園(福岡城址)は石垣、櫓、門、堀などが残り、四季が織り成す美しい自然の風景を楽しむことができる。特に春の桜が有名で、福岡城さくらまつりなど、市内屈指の花見の名所として知られる。

所在地・開催地	〒810-0051 福岡市中央区大濠公園
アクセス	ツアー・乗船バスより車で10分(3.3km) 個人:近鉄
季節	通年

全国86港を掲載

全国72港の観光情報を掲載

3. 外航クルーズ客に多様なサービス(通信環境の改善や多言語対応等)を提供する海のゲートウェイとして「みなとオアシス」を活用。



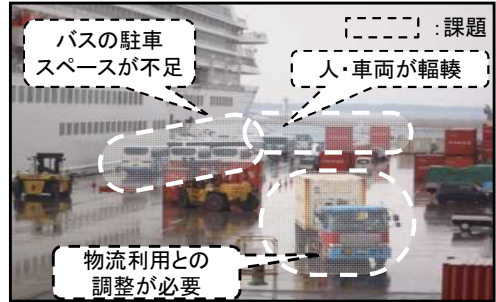
外航クルーズ船寄港時の無料Wi-Fiの臨時ブースの設置



案内標識等の統一化

4. 外国クルーズ船社等からの問い合わせに、一元的に「ワンストップ窓口」で対応するとともに、更なる周知を推進。

5. アジア地域等においてクルーズ人口が増加する中、物流ターミナル等の既存ストックを有効活用しつつ、クルーズ船を円滑に受け入れるため、クルーズ船とバスの乗り換え導線の改善などの先導的事業を新たに実施。



バスの駐車スペースが不足

人・車両が輻輳

物流利用との調整が必要

受入を円滑化

《物流ターミナルにおけるクルーズ船の受入状況(例)》

6. 外航クルーズ船の寄港時に埠頭において臨時的仮設店舗の免税許可申請を簡素化。



岸壁や旅客船ターミナルにおける地元物産販売の例

# 3. 国内旅客船の船旅の振興①

## 現 状

○ 国内旅客航路は、四面を海に囲まれた我が国にとって生活の足となり、物流の一翼を担うとともに、船で過ごす時間そのものや船上からの景観などが潜在的な観光資源ともなる、多面的な機能を持つ交通モード。  
国内旅客航路を活用した海洋観光は、インバウンドの振興・地域活性化に大きく寄与するが、その資源が有効に活用されていない。

## 船旅の魅力

### ① 日本ならではの体験



屋形船

### ② 風景を楽しむ



水上バスと都会の風景

### ③ 自然と親しむ



瀬戸内海の多島美  
瀬戸内海の船旅

### ④ 非日常的体験



地引き網  
離島での体験



# 3. 国内旅客船の船旅の振興②

## 屋形船の概要

屋形船: 1,000年以上の歴史のある、日本の伝統と都会のモダンな夜景を同時に体験できる屋根の付いた日本風の船。

※ 全国に86事業者、約200隻(東京73事業者、180隻)を運航。



## 屋形船の魅力

- 美味しく楽しむ屋形船。春は花見、夏は花火。
- 小、中、高校生の総合学習、修学旅行等にも活用。
- 中国人、韓国人旅行者にも人気。

## 設備 (例)



お座敷



※ 椅子や掘りごたつ形式の屋形船もあり

## 遊覧コース (例)



東京スカイツリー(隅田川)



レインボーブリッジ(お台場)



# 3. 国内旅客船の船旅の振興③

## 国における取組例

- 「離島巡りツアー」の企画（北海道運輸局）
  - 観光による地域活性化や離島航路の利用促進を目的として、2013年に運輸局が主体となって道内の離島(天売・焼尻島)を巡る旅行商品を企画、旅行代理店を通じて販売。その後、利尻、礼文島を巡るツアーも実施。
  - ⇒ 2013年度の離島航路の乗客(利尻・礼文航路)は前年度比1万人増(約54万人)



利尻富士



焼尻サフォーク羊

## 事業者、団体における取組例

### 【事業者】(株)フェリーさんふらわあの取組



- ・ 夜間の航海を利用した夜の星空教室や期間限定で昼の瀬戸内クルーズを実施
- ・ 格安の弾丸フェリー(例:神戸～大分間往復(船中2泊:最安10,000円))を実施)
- ・ 観光マーケティングを学ぶ大学生と協力し、乗船体験で得た新たな船旅の魅力・就航地の観光情報を若者に向けSNS等で発信
- ・ 大学生の声がかきかけでキャラクタールームを設置(ハローキティ、くまモン)
- ⇒ 2013年6月からの半年間で延べ700名以上利用



星空教室



ハローキティルーム

### 【団体】

- ファムトリップ (日本旅客船協会、日本旅行業協会が連携して実施)

- ・ 2008年から実施。航路の特性に応じてどのような船旅が企画できるのか旅行業者と検討。

- ＜参考＞これまでの開催状況
- 第1回 太平洋フェリー「きそ」 仙台～名古屋
  - 第2回 しまなみ橋めぐりと瀬戸内歴史探訪クルーズ
  - 第3回 五島列島の旅
  - 第4回 島原・天草・有明海の旅
  - 第5回 下北の旅
  - 第6回 伊豆・駿河湾の船上から世界遺産「富士山」を望む
  - 第7回 ロマン漂う神戸と湯布院を船でつなぐ



# 4. オリパラに向けた取組

## 現 状

- 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催も見据え、増加する訪日外国人等に対し、多言語化等の取組を通じて利便性の向上を図っていくことが求められているが、十分な取組が出来ているとは言い難い。

## 取 組

- 「水のまち東京における舟運活性化に関する関係者連絡会」  
(本省、関東運輸局)  
2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催を契機として、今後の増加が見込まれるインバウンドへの対応や東京の舟運の魅力そのものの向上、外国人の更なる利用拡大を目指す。

### <これまでの取組と今後の予定>

#### 舟運のPR(隅田川及び東京ベイエリア)

平成26年9月のツーリズムEXPOジャパン開催時に外国の旅行業者を対象とした屋形船のPRを実施。船内で提供される料理(原材料等)の英語での説明の充実を求める声が多かった。



屋形船を楽しむ外国人

また、今年の7月の海の日的前後に舟運のPRを目的としたイベントの実施を検討中。

#### 新たな商品の開発

舟運そのものの旅行商品としての魅力の向上や外国人の利用拡大を念頭において、新たな商品開発を目指す(屋形船、水上バス)。



#### 新規航路の開設の検討

新たな観光資源として水上交通を活性化していくために、船着き場の整備や新規航路の開設に向けて関係者と検討を進める。



# 5. マリンレジャーの現状について

◆ モーターボート、ヨットなどのプレジャーボートは様々なマリンレジャーで活用

## 小型船舶の種類



プレジャーボート



ヨット



水上オートバイ

## ボートを使ったマリンレジャー



釣り



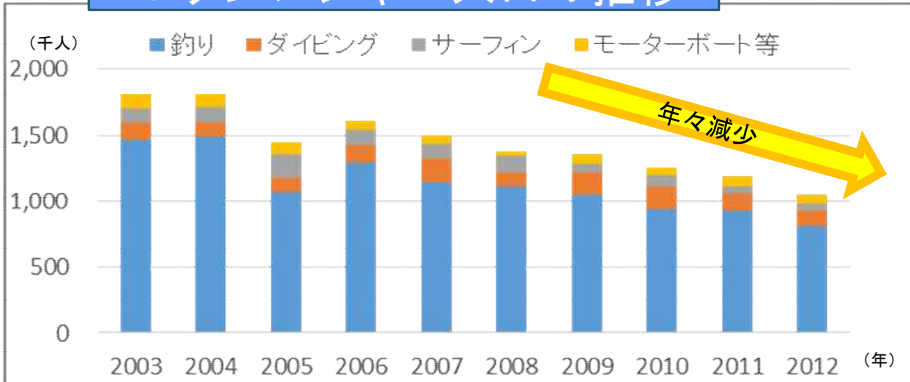
ウェイクボード



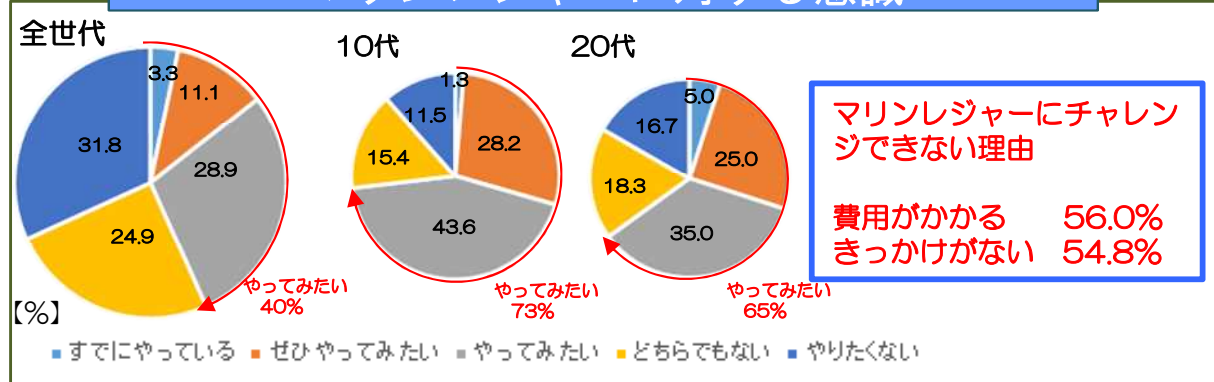
クルージング

- ◆ 近年の経済状況や若年層の海離れにより、マリンレジャー人口は減少。しかしながら、若年層はマリンレジャーへの興味が強い。
- ◆ マリンレジャーにチャレンジしない主な理由は、「費用がかかる」と「きっかけがない」。

## マリンレジャー人口の推移



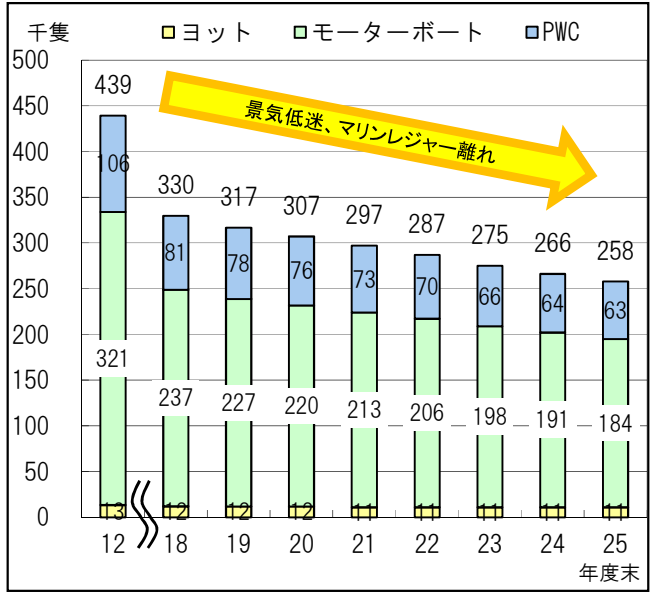
## マリンレジャーに対する意識



# 5. プレジャーボートや免許取得者数等の現状

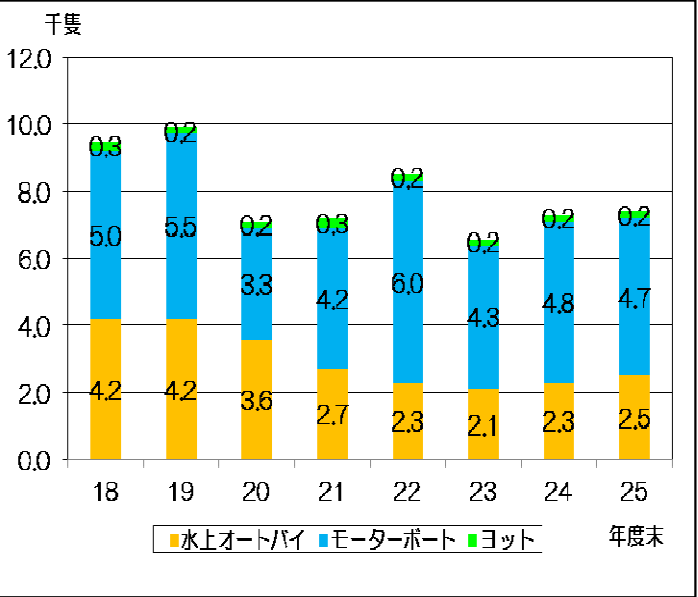
- ◆ プレジャーボートの保有隻数は近年の若年層のマリンレジャー離れ等の影響により漸減傾向
- ◆ しかしながら、近年の景気回復等の影響により舟艇興業の生産出荷金額・隻数は徐々に回復
- ◆ また、小型船舶操縦者免許の取得者数も平成24年より増加傾向

プレジャーボートの保有隻数の推移



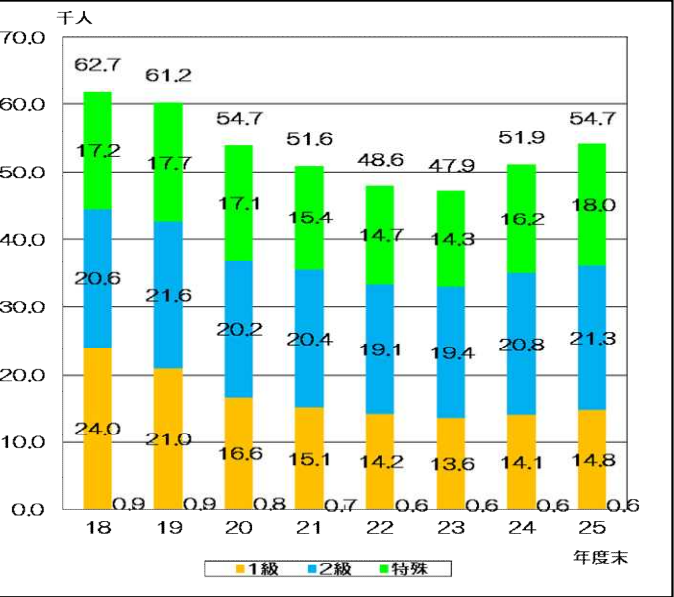
出展：日本小型船舶検査機構「小型船舶統計集」より

プレジャーボートの出荷隻数の推移



出展：(一社)日本マリン事業協会「舟艇興業の現状」及び(一社)日本マリン事業協会データより

小型船舶操縦者免許新規取得者数の推移



マリンレジャーの振興には、①マリンレジャーを楽しむきっかけ作り、②気軽に楽しめる環境整備、③魅力の情報発信が必要



2014年度・2015年度ミス日本「海の日」も小型船舶操縦免許を取得  
「ジャパンインターナショナルボートショー2015」(H27.3)にて



# 5. マリンレジャー振興に向けた取組①

## UMI協議会

- ◆ 舟艇利用振興施策として、マリン関連16団体からなるUMI協議会を平成20年に発足。
- ◆ マリンレジャーの普及及び健全な発展を目指し、プレジャーボートの無料体験乗船会や水辺の安全教室等、海を身近に感じとれる体験・学習等の取組を行っている。
- ◆ また、マリンレジャー情報総合ポータルサイトである『UMIちゃんねる』  
( <http://www.uminikou.com/> ) を開設し、協議会会員の行うイベント情報や全国で行われているマリン関連のイベント等を紹介している。

### イベントにおける体験乗船会等の実施



みなと木更津うみ祭り (H26.9.14-15)

体験乗船者数：926名



東京湾大感謝祭2014 (H26.10.25-26)

体験乗船者数：223名



【ホームページによるによるイベント情報の広報】



# 5. マリンレジャー振興に向けた取組②

## 海の駅の推進

- ◆従来のマリーナは、係留施設の利用を会員に限るケースが多く、気軽に利用できる拠点になっていなかった。
- ◆このため、プレジャーボートの利用者が誰でも気軽に利用できる拠点づくりを推進するため、誰でも利用できる共有係留施設の利用が可能なマリーナ、漁港、港を「海の駅」として登録し、周知・利用促進に取り組んでいる。
- ◆各海の駅で、ショッピング施設、海鮮を味わえるレストランの設置等、海・陸の両方からの集客を目指した独自の取組を実施。
- ◆海の駅のネットワークを活用した合同イベント等も実施。

しょうなん・逗子マリーナ海の駅  
(神奈川県逗子市)



レンタルボートの他、プール・テニスコート等を完備したリゾート施設



レストラン、ショッピング施設を併設

### 海の駅の取組み



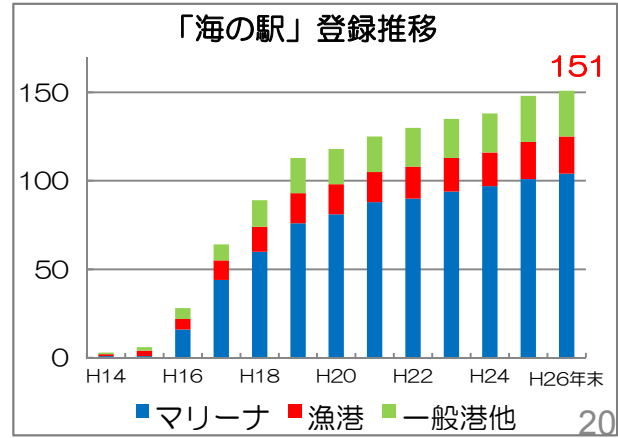
ホームページや広報冊子による広報



海の駅合同クルージング(瀬戸内)



統一看板・のぼりの設置



## 6. ご議論いただきたいポイント

### 【外航クルーズ船の寄港促進】

- 外国船社が運航するクルーズ船の寄港が急増している中で、クルーズ人口は、2013年には約24万人と過去最高となったが、世界と比べて十分なマーケットの拡大には至っていない。今後、クルーズ人口を増やすための取組みとして、期待される国の役割や日本船社が運航するクルーズ船の役割はどのようなものか。
- アジアのクルーズマーケットの成長を取り込むために、中国や韓国に加え、新たにASEANからのインバウンド拡大を目指し、ASEANと協力してルート開発やインフラ、データの整備などの検討を開始しているが、日ASEANのクルーズの魅力を高めるために、どのような方策が必要か。

### 【国内旅客船の船旅の振興】

- 船旅の魅力は多岐にわたるものと考えられるが、紹介したものの他に、船旅の魅力としてどのようなものが考えられるか。

### 【オリパラに向けた取組】

- 外国人にも使いやすい魅力ある水上交通にしていくために、多言語化に向けた取組の他にどのような取組が考えられるか。

### 【マリンレジャーの振興】

- マリンレジャーの振興のためには、紹介したものの他に、国としてどのような取組が必要か。